

経営比較分析表（令和6年度決算）

和歌山県 印南町

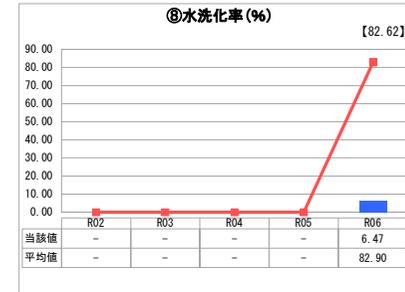
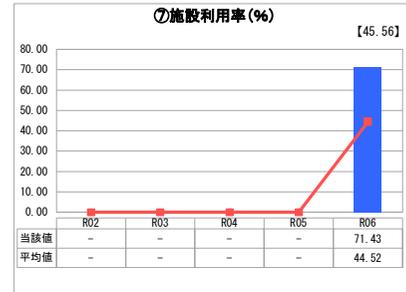
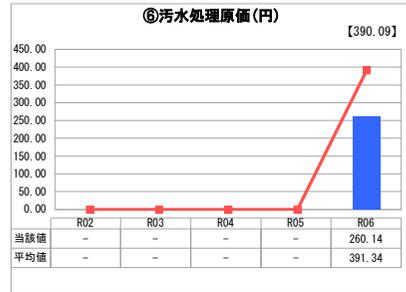
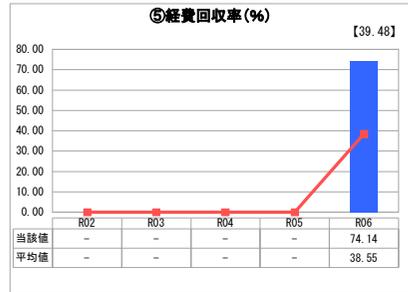
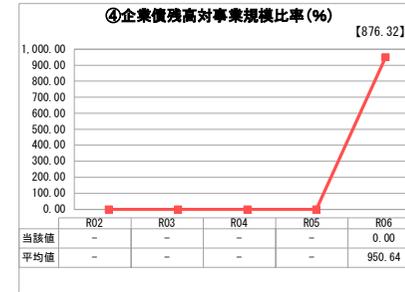
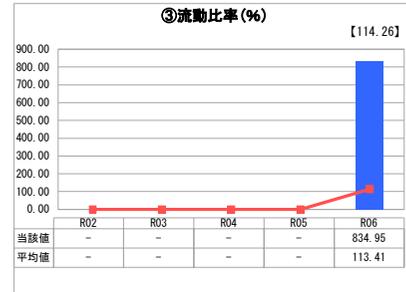
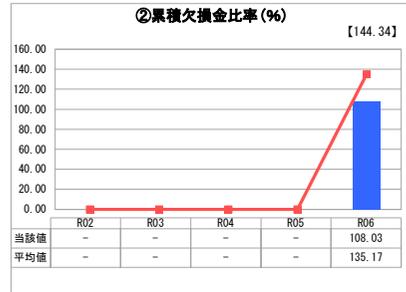
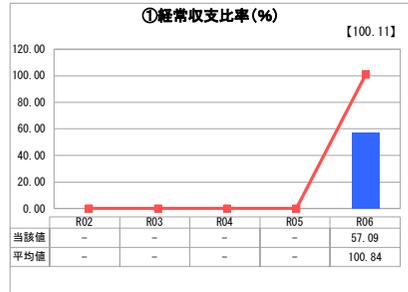
業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	個別排水処理	L2	非設置
資金不足比率 (%)	自己資本構成比率 (%)	普及率 (%)	有収率 (%)	1か月20m ³ 当たり家賃料金 (円)
-	39.44	13.63	100.00	4,987

人口 (人)	面積 (km ²)	人口密度 (人/km ²)
7,636	113.62	67.21
処理区域内人口 (人)	処理区域面積 (km ²)	処理区域内人口密度 (人/km ²)
1,036	0.38	2,726.32

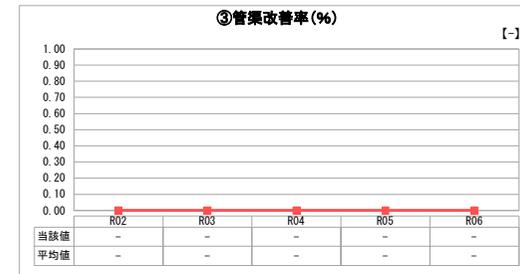
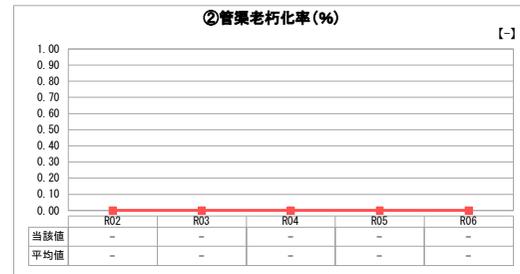
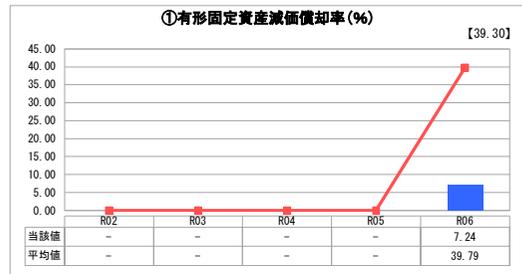
グラフ凡例

- 当該団体値 (当該値)
- 類似団体平均値 (平均値)
- 令和6年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

令和6年度より企業会計に移行した。
 ①経常収支比率は57.09%で、特に支出では減価償却費が大きく影響している。
 ②累積欠損金比率は類似団体平均を下回るが高い値である。
 ③流動比率は類似団体平均を大きく上回っており、なるべく減少させないよう努める必要がある。
 ⑤経費回収率及び⑥汚水処理原価は、前年度で企業会計への移行に伴う打ち切り決算により未収金及び未払金が発生していたため、本年度は増加している。
 ⑦施設利用率については、類似団体と比べて良好で適切な規模と言える。
 ⑧水洗化率が類似団体平均を下回るのは当該事業は農業集落排水事業の補完的事業に位置づいており、処理区域が同一で区域内人口の分母が大きくなるためである。

2. 老朽化の状況について

合併浄化槽による処理方式のため、管渠は整備しておらず改善率は発生しない。各電気設備については保守点検を実施し、適時交換等の対応を行っている。

全体総括

各戸に整備した設備に老朽化による軽微な修繕等が発生しており、設備や機器の管理と、費用抑制に努める必要がある。
 個別排水事業自体の見直しも検討する必要がある。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。